

男女共同参画について考えてみませんか

○会津坂下町男女共同参画推進委員会より

平成27年度の会津坂下町のテーマが決定しましたのでお知らせします。

「共同×協働＝郷土の未来～ちようどいい関係～」

今年は、男性と女性が互いを認め合い協力し、知恵を出し合って「会津坂下町」を盛りたてていこうという気持ちをこめました。

※昨年のテーマは「ワークライフバランス（仕事と生活の調和）を理解する」でした。

このテーマをもとに、家庭や職場、学校、地域で男性と女性のそれぞれの立場や関係を考えていきませんか。

○男女共同参画川柳コンクール作品募集

毎年行っている「男女共同参画川柳コンクール」も今年で第10回目の開催となりました。今回のテーマは「家庭・地域・職場・学校」です。たくさんの応募をお待ちしています。

▼募集期間 8月18日（火）～9月18日（金）まで

▼応募方法 応募用紙に記入し、中央公民館または最寄りの地区コミュニティセンターへ持参してください。FAXでも受け付けします。

応募用紙は中央公民館、各地区コミュニティセンターにあります。

作品例 「娘が巣立ち 並んで立つよ 台所」（一般 特選）

「お互いに のぼしあおうよ 男女の手」（学生 特選）

*このような作品もありました。

「まわししめ 勝負する女子 おとこまえ」（一般 特別賞）

○頑張っている人募集

会津坂下町在住の「頑張ってる人」（農業女子、仕事に子育てなど）のインタビュー記事を載せたいと思います。ご存じの方は、事務局までお知らせください。お待ちしております！



【問い合わせ先】

会津坂下町男女共同参画推進会議事務局
中央公民館 社会文化班

☎ 83-3010 FAX 83-4498

エコ活動にご協力ください！

節電にご協力ください

暑さが本格化する7～9月には電力使用量が増加します。東北電力管内の今夏の見通しによると、猛暑となった場合でも電力供給量は確保できる見込みですが、この予測値はみなさまのこれまでの節電効果が前提となっていますので、今後も節電への取り組みが重要です。

○心がけ

- ・無駄を排除し、無理のない範囲で行う（状況に応じた無理のない範囲で行う）
- ・家電製品を使う時間帯をずらす（ピークカット）・・・午後2時前後がピークです

○主な取り組み事例

- ・エアコンの室温を28℃に設定する
- ・エアコンのフィルターを定期的に清掃する
- ・扇風機を代用する
- ・不要な照明を消灯する
- ・洗濯物はまとめ洗いのする（容量の80%を目安）



紙資源の分別にご協力ください

紙の中には、リサイクルの困難なものがあります。これらが資源物に混入するとリサイクル工場において品質の低下、機械の故障の原因となってしまいます。

下記のものについては、資源物に混ぜずに可燃ごみとして出してください。

- ・お菓子、カップ麺の蓋などの「アルミ貼りされた紙」
- ・食べ残し、油などが付着した「汚れた紙」
- ・アイス、ヨーグルト、カップ麺の容器などの「コーティングされた紙」
- ・洗剤の箱、線香の箱などの「臭いのついた紙」

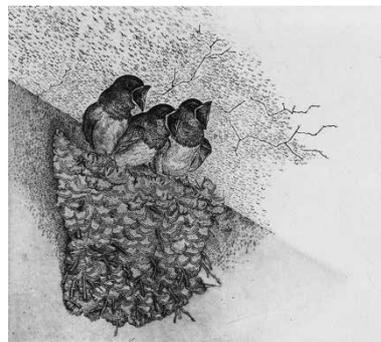


他に・・・カーボン紙、感熱紙、圧着はがき、たばこの中銀紙（外箱は可）など

○紙製品の紙以外の部分

- ・紙ファイルなどのプラスチック部分
- ・ティッシュペーパーの箱のビニール部分 などは出せません。

※その他わからない製品につきましては、下記までお問い合わせください。



三浦麻梨乃の展

現在、五浪美術記念館では、『三浦麻梨乃展』を開催中です。小動物などの銅版画作品を展示していますので、ぜひご来館ください。



〔開催期間〕 8月30日(日)まで
〔ギャラリートーク〕 7月18日(土) 午後2時～
〔ワークショップ〕 8月2日(日) 午前9時30分～正午

「かんたんスタンプで描く生き物の楽園」

対象：小学生（低学年は保護者同伴）定員15名

場所：五浪美術記念館 多目的ホール

※参加希望者は7月24日までに問い合わせ先へご連絡ください。



7月の開館日						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月の開館日						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

※月曜日休館となりますが、祝日の場合はその翌日が休館です。

※■は休館日です。

※○印 8月21日（県民の日）は無料観覧日です。

【問い合わせ先】 教育課 社会文化班 ☎ 83-3010

結婚式の当世風昔風

《島台》
しまだい

結婚式は、本来自宅で行うもので、白い角隠しに黒の裾模様の花嫁が、嫁ぎ先の敷居をまたぐと仏壇の先祖に挨拶をし、次いで座敷に座ると結びに続いて酒宴が始まり、真夜中まで続くという形が伝統的なものでした。しかし、このような昔風の結婚式はもう見ることが出来なくなりました。

昭和二十年代までは自宅で結婚式を行うのはごく普通で、ホテルなどで披露宴を行うのは特別な階層に限られていました。その後、いわゆる結婚式場を専門とする会館が増加しますが、地方では、華美な付き合いを地域全体で改めようとする新生活改善運動により、公民館で行う公民館結婚式などが行われました。坂下でも公民館や農協会館などで行われてきましたが、最近では、再びホテルや専門の式場で行うことが多いようです。

町では、昭和四十年代には自宅で結婚式はまだ当たり前のように行

われていたようです。このたび、中開津の有志の方々二十人が昭和四十年三月に共同で購入した「島台」と「燭台二対」を寄贈していただきました。



中開津有志一同より町に寄贈となった
婚礼用具【島台と燭台】

島台は、「州浜台の上に、松・竹・梅に尉・姥や鶴・亀などの形をしたもの。蓬萊山を模したもの」(広辞苑)で、蓬萊山は古代中国の思想で理想郷を意味しますが、婚礼・饗応などお祝いの席に縁起の良い物として飾られます。

はじめは、宮中や武家社会で使われる縁起物でしたが、江戸時代には庶民層にも広まり婚礼の飾り物とし

て不可欠の物となりました。婚礼には、三三九度の席に島台が置かれますが、寄贈していただいた島台を見ますと、「翁と老女」・「夫婦鶴と亀」・「子育て中の」・「巢中の子鶴」・「松竹梅」・「椿」・「だいたい(橙)」・「露」などの飾りが見られます。

「翁と老女」は、翁は大坂(大阪)の住吉神社にある松の精、老女は高砂の松の精で、遠く離れていても強く結ばれていることから、「二人の精を赤松と黒松の二つの松が一つの根から生えている相生の松に仕上げた」という謡曲にある物語を意味し、相生は「老い」に通じ、老夫婦のように長く仲良く暮らせるようにとの願いを表しています。「松竹梅」は常緑で不老不死を、また、たくさんの実などを結ぶことから繁栄を、「椿」は日陰でも常に生き生きとした緑で、「だいたい(橙)」は家々々の繁栄を、「露」は「不帰」に通じ、嫁いだ後は帰ることなく夫婦和合を、「夫婦鶴と亀」と「子育て中の」・「巢中の子鶴」は長寿と子宝に恵まれる家の繁栄を表しています。

結婚を約束する結納の儀式の祝い

品の柳樽を「家内喜多留」、スルメイカを「寿留女」、ニシンを「二親」、昆布を「喜子婦」、鯛を「目出対」とか「長く婚家に居」多居、などと書きますが、若い男女の新しい門出と幸せを幾重にも重ね折ることの意味から重要な飾り物として使用されてきました。

▼問い合わせ先

町史編さん室 ☎83-3010

昭和四十〜五十年代の婚礼の一場面
(三三九度)。
島台が実際に使用されている様子。

